

広報

Yasato
Public
Information

やさと

7

2000 No.541

いっばいおねがいたよ



瓦会保育所 七夕の飾りつけ

○町の人口(7月1日現在) 男15,307人 女15,488人 計30,795人(前月比+8) 世帯数8,121世帯(前月比+6)

ボクたちが暮らす未来 真剣に考えて



年々低下する出生率から単純計算して推計される日本の将来人口は、二一〇〇年には六七〇〇万人になるという信じられないような数字も示されています。二〇世紀は年間八三万人ずつ人口が増加した時代でしたが、二一世紀は年間六〇万人ずつ人口が減っていくという時代になるといわれています。

著しい人口減少社会になることを避けるため、さまざまな取組みをすすめることは、いまの社会を背負う世代の二一世紀を生きる世代への責任なのではないでしょうか。

いろいろな取組みによって、今後出生率が回復するとしても、それが生産労働人口として反映されるのは、二〇二五年以降と見込まれます。したがって少子化への対応に取り組むのならば、その対応は今から始めなければなりません。国の調査による結婚後一五年、一九年の夫婦がもつ子どもの数を見ますと、昭和四七年が二・二〇人、昭和五七年が二・二三人、平成四年が二・二一人、平成九年が二・二一人となっていて、結婚した人は昔とあまり変わらない数の子どもをもっているという結果です。ではなぜ少子化が進んでいるのでしょうか。それは、各年齢層における未婚率の上昇、「晩婚化」にあるといわれています。結婚や出産は個人の自由意志であることはいうまでもなく、結婚したい人、子どもを産みたい人がそれを実現しやすい環境となるよう、仕事等の社会活動と育児等の家庭活動を両立させる環境づくりに、行政の取り組み、企業の理解、地域の支援などさまざまな面での対応が必要になるでしょう。

町が実施している子育て支援

保育所サービスなど子育て支援サービスの充実のため、町では次のような事業を行っています。

延長保育

町では平成九年度から柿岡と園部の二つの保育所で延長保育をはじめました。外で働くお母さんたちのために、夕方六時まで保育時間を延長して子どもたちを預かることにしたものです。今年四月が

ら、統合によって新しくできたみなみ保育所でもはじまっています。共働きで勤める家庭の増加で延長保育を希望する保護者は、ますます増えてくるでしょう。

0歳児保育

平成十一年度に小幡・小桜保育所を統合して新しい保育二丁所に対応できる設備を備えたみなみ保育所建設、また、園部保育所は、

少子化対策臨時特例交付金を活用して0歳児を受け入れるために施設の増築をすすめました。

そして、今年四月から両保育所では0歳児の受け入れがはじまりました。現在、みなみ保育所には三人、園部保育所には一人の0歳児が入所しています。0歳児三人に対して一人の保育士が必要なため、入所児の増加と合わせて臨時的な保育士の増員も必要です。

緊急保育・町外保育

家庭で保育している方が、病気、事故、冠婚葬祭などの事情があって、保育所に一日だけ預けたい場合、受け入れて保育するものです。また、町外の方でも勤めの都合や実家の両親に頼む関係で、お子さんを八郷町内の保育所に預けたい場合、入所させることができます。これらは町内全保育所に対応しています。

学童保育

小学校低学年（一年～三年生）の児童で、放課後帰宅しても両親や祖父母が仕事の都合で面倒をみられない場合、町が運営する放課後児童クラブで預かるものです。平成十一年六月から園部地区を対象に、園部地区コミュニティセンターに開設しました。現在十六人の児童が入会しています。



いつも子どもと一緒にいられる方でも、未就園の子ども同士がふれあい、お母さんたちが交流できる場などに参加してみるのもよいのでは。（お母さんたちが開いているたんぽぽとお日さまの会）

三歳児神話からの解放

「子どもは三歳までは常時家庭において母親の手で育てないと、子どもの成長に悪影響を及ぼす」という考え方が『三歳児神話』。こうした考えのもと、子育ての責任は母親の肩に重くのしかかっています。幼い子どもを保育所や他人に預ける親は、子どもに対して愛情が薄いと、自分勝手であると周囲から見られがちでした。

しかし、子育ては、他人の手を借りずに、すべて自分の手でやることだけが親としての責任の果たし方でしょうか。保育所や地域社会などの支援を受けながら、多くの手と愛情の中で子どもを育てることができれば、母親が一人孤立感の中で悩み、ストレスをためながら子育てをするよりも、子どもの健全発育には望ましいといえるでしょう。大切なのは育児者によって注がれる愛情の質ではないでしょうか。

下水道処理施設土木工事

請負契約締結議案など審議

平成十一年八郷町議会第二回定例会は、六月十二日招集され二十日まで、九日間の日程で開かれまして、提出された案件は、報告十

二件、議案二十件でしたが、すべて原案のとおり可決されました。おもな内容については、次のとおりです。

報告

施行日の関係で三月三十一日に専決処分した条例改正、平成十年度一般会計補正予算の専決処分ほか、産業文化事業団の決算、予算等の報告案件でした。

予算補正議案

十二年度一般会計補正予算は、一億三、八四九万四千円を追加歳入歳出総額は、それぞれ九七億七五九万四千円になりました。歳入のおもなものは、温泉施設の入浴者を八万四一〇人と見込み、町税において入湯税八四一万円を増額しました。また、使用料では、八郷農協に運営を委託するふれあい交流施設の使用料六、九五二万一千円を見込み、補正増になりました。ほかに町債では、臨時特例借換債一億六、〇三〇万円が増額されました。これは、高利で借り入れていた公営企業債について、低利

契約締結議案

下水道処理場建設工事の請負契約の締結議案は、次のような内容で可決されました。
契約の目的
平成十一年度公下水道処理場建

設工事・土木
契約の方法 指名競争入札
契約金額 六億三千万円
契約先
千葉市中央区新宿二丁目三番八号 西松建設(株) 東関東支店 取締役 阿部正義

の資金を借り入れて繰り上げ償還することで利子が減額になり、財政負担が軽減されます。借換できる団体は、経常収支比率が全国平均の八五・三%を超えるか、財政力指数が〇・四二以下いずれかに該当すれば対象になります。町の経常収支比率は七六・九%ですが、財政力指数は〇・三七五であるために該当していません。

歳出は、総務費がふれあい交流施設管理運営費七、四五七万四千円、財産管理費二九四万一千円の増など合わせて七、九九七万六千円の補正増になりました。

民生費の老人福祉費では、七十歳以上のお年寄りに対して、ふれあい交流施設の料金が半額になる優待券二回分を負担するために、負担金三三万三千円を増額、公債費は元利償還金一億三、八八七万三千円を増額しました。

条例改正議案

町史編さん委員会設置条例を制

定、平成十六年度の刊行をめざしてすすめる町史編さんについて、基本計画や刊行計画を審議する委員会を設置するものです。委員会は、議員、常勤特別職及び一般職員、学識経験者などから選ばれた二十人の委員で構成され、さらに、資料調査、執筆にあたる専門委員、専門調査員が置かれます。税条例の一部改正は、温泉施設の入湯税を徴収するのに伴い改正されました。入湯税は、十二歳未満の者を除き、一人一日につき百円を徴収するものです。

また、非常勤消防団員の退職報償金の支給に関する条例の一部改正があり、勤続年数と階級により定められている報償金の額が、それぞれ二千円増額されました。

一例として、最低で勤続五年以上十年未満の団員の退職報償金は十三万二千円に、最高で勤続三十年以上の団長が九十一万七千円にそれぞれ増額されました。



衆議院議員総選挙

町の投票率(小選挙区) 60.60%

第42衆議院議員総選挙は、6月25日に投票が行われました。投票は、午前7時から町内27の投票所ではじまり、午後8時に投票所を閉鎖、午後9時から開票作業が行われました。この選挙は、小選挙区選出議員選挙、比例代表選出議員選挙、最高裁判所裁判官国民審査が同時に行われました。

町の当日の有権者数は24,088人、投票率は小選挙区60.60%、比例代表60.57%、国民審査60.02%という結果でした。

なお、八郷町開票区における各候補者、政党の得票数は下のとおりです。



小選挙区候補者の得票数

候補者名	得票数(票)
にわ ゆうや	10,528
いがらし 弘子	1,978
二見 伸明	1,096
小松 豊正	692
無効	303

(八郷町開票区)

比例代表各政党得票数

政党名	得票数(票)	政党名	得票数(票)
自由民主党	5,280	日本共産党	808
自由党	2,631	社会民主党	704
民主党	2,355	政党自由連合	50
公明党	1,651	無効	1,114

(八郷町開票区)

町内各投票所における投票状況

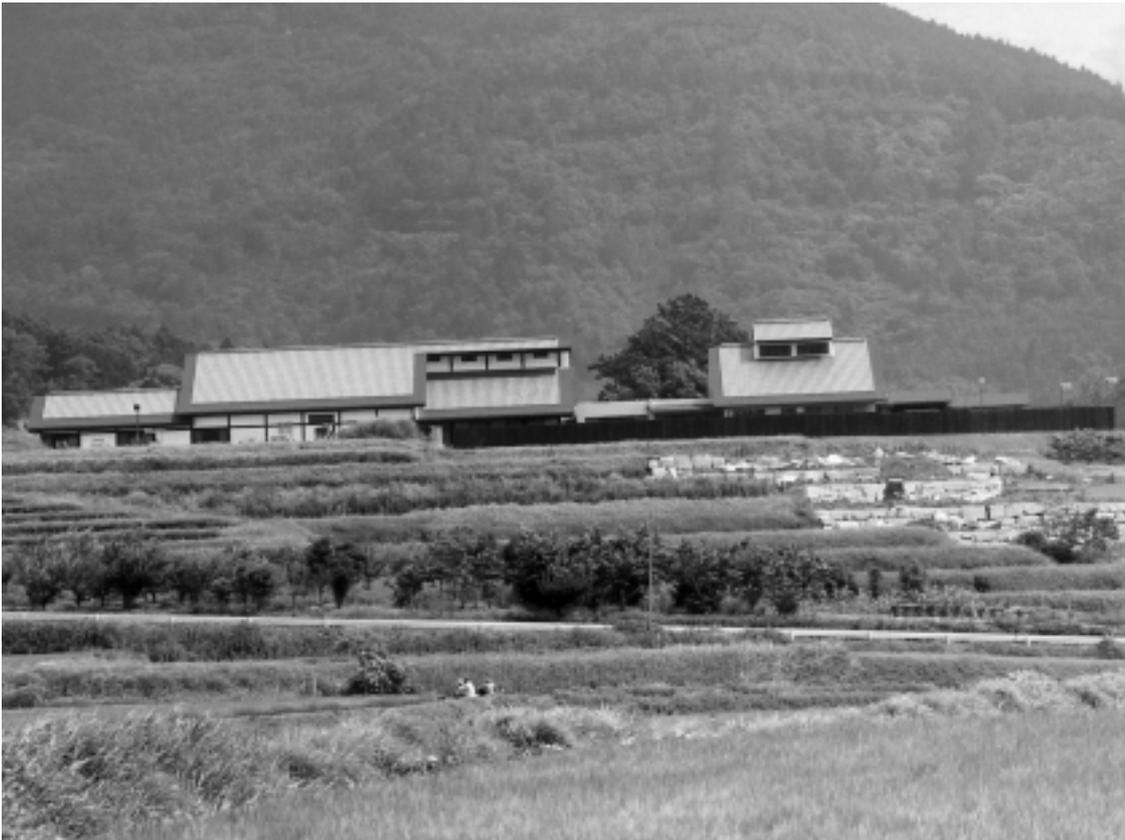
投票所	有権者数	投票人員	投票率	投票所	有権者数	投票人員	投票率	投票所	有権者数	投票人員	投票率
第1投票所	3,329 ^人	1,933 ^人	58.07 [%]	第10投票所	724 ^人	435 ^人	60.08 [%]	第19投票所	436 ^人	278 ^人	63.76 [%]
第2投票所	552	344	62.32	第11投票所	552	356	64.49	第20投票所	959	628	65.48
第3投票所	635	406	63.94	第12投票所	306	190	62.09	第21投票所	883	555	62.85
第4投票所	1,417	849	59.92	第13投票所	747	520	69.61	第22投票所	407	251	61.67
第5投票所	507	290	57.20	第14投票所	1,197	689	57.56	第23投票所	412	275	66.75
第6投票所	636	388	61.01	第15投票所	876	516	58.90	第24投票所	543	337	62.06
第7投票所	1,096	650	59.31	第16投票所	1,000	634	63.40	第25投票所	546	368	67.40
第8投票所	990	615	62.12	第17投票所	1,616	917	56.75	第26投票所	567	348	61.38
第9投票所	587	312	53.15	第18投票所	1,983	1,168	58.90	第27投票所	585	345	58.97

(小選挙区選挙)

ふれあい交流施設

やさと温泉ゆりの郷

7月20日オープン



筑波山麓小幡地内に建設をすすめていました、ふれあい交流施設「やさと温泉ゆりの郷」がこのほど完成、七月二十日オープンします。紫峰筑波の山ふところ、眼下を見渡せば四季折々に変化する八郷の大地。花と果樹の香り漂うなかに、町の観光名所がもう一つ誕生しました。



建物規模・温泉効能等

所在地	八郷町大字小幡1416番地
敷地面積	17,399m ²
建物規模	木造瓦葺き一部RC平屋造 1,585m ²
泉温	31.4度
湧出量	毎分43ℓ
泉質	アルカリ性単純温泉
PH	9.9
利用	療養泉に該当
適応症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺 関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復健康増進
風呂の種類	内湯、打たせ湯、寝湯、サウナ、露天風呂、源泉浴

営業内容

営業時間 午前10時～午後10時

休館日 第2・第4月曜日

料金 平日 大人 800円 子供400円

休日(土・日・祭日)

大人1,000円 子供500円

問い合わせ ☎0299-42-4126



研修交流室



地域交流スペース



洗い場・源泉浴



室内浴槽



自然石を使った露天風呂

魅力あるまちをつくるために

町では、「まちづくり出前懇談会」の申し込みをお受けします。

「出前懇談会」は、町民のみならずから「こんなテーマで話し合いたい場所をもちたいので出席してほしい」という要請をお受けし、町長はじめ、内容に関係する職員が懇談会の場に向いて、質問にお答えしたり、ご意見、ご提言をお聞きしたりします。

集会の主体は町民の皆さんです。組織・団体・個人的なグループ

など集まる形態は問いません。

また、テーマは自由ですが、時間の関係もありますので、農政、教育、福祉、そのほか町政一般の中からいくつかのテーマを決めていただきます。

町の仕事などについて、意見を述べる機会がないという方は、このような話し合いの場を設けてみてはいかがでしょうか。

「魅力ある八郷をつくるには、どうすればよいか」など、みなさんの建設的なご意見やご提言は、これからのまちづくりにできる限り反映させていきたいと考えています。みなさんの積極的な申し込みをお待ちしています。

【対象】

十人〜二十人程度のグループ

【内容】

町政一般の中から申込者がいくつかのテーマを決めてください。

【町側出席者】

町長及び町職員（内容により関係する職員が出席します）

【場所】

地区公民館、集落センターなど地元の施設を申込者が準備してください。

【開催日・回数】

希望日をお聞きし、日程を調整して決めます。開催期間は来年二月までとし、回数は七回程度を予定しています。

【時間】

一回の懇談会は、二時間を限度とします。

【申込先】

申込書を秘書広聴課秘書広聴係に提出してください。なお、事前に日程など電話で問い合わせてください。

申込書のご請求や詳しい内容の問い合わせは、

八郷町役場

秘書広聴課秘書広聴係

☎四三一一一 一内線一三四一・一三四二までお願いします。

西光院周辺道路 環境美化ボランティア

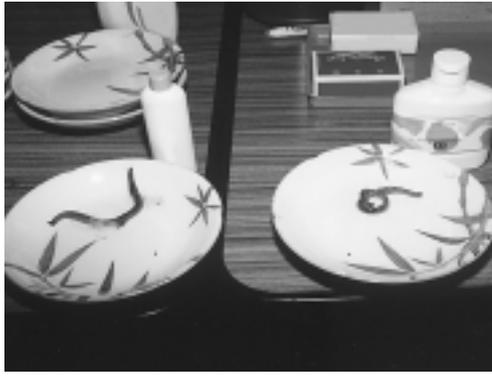


六月十七日、石岡信用金庫柿岡支店と本部の職員八十七名が参加して西光院周辺道路の清掃奉仕活動が行われました。この日、各地域の観光地などでは、それぞれ支店の職員が参加し地域ごとに実施されました。これは、六月十五日の「信用金庫の日」の一環として、社会に貢献することを目的に毎年実施されているもので、今年で五年目になります。参加者は三つのコースに分かれ、道路沿いに投げ捨てられた空き缶や空きビンを集められました。「捨てられていく場所がまわっているようですね。草が茂ってカーブになって

いるような所に多く捨てられていました。見えないところは心理的に捨てやすいのでしょうか」と参加された成井支店長は、散乱状況について語っていました。

また、支店長は「これまで西光院周辺で清掃ボランティアを行ってきましたが、年々ごみは少なくなっているようです。町の観光地で、ほかにもポイ捨てなどでひどいところもあると思います。来年は、町の担当課とよく相談して、ほかの場所で実施することも考えてみます」と来年に向けたお話もされました。

流す水は飲む水です。



化学物質が表示されている洗剤や歯磨き粉、ハンドソープなど少量を水で濃縮し、ミミズを入れて実験しました。

廃食油から石けんづくり
千葉県柏市にある手賀沼は、日本一汚いと言われていました。このような中で少しでも水環境を良くしたいとの思いを持った、約一万人の市民が出資して、石けん工場（手賀沼せつけん）をつくりあげました。この工場では、千葉県下ボランティアネットワークや、行政において回収した廃食油を原料に石けんをつくっています。廃食油を原料に石けんをつくることで、ごみを減らし、水の汚れが減らせるのです。手賀沼せつけん工場では、石けんづくりを見学することもできます。

洗うことから環境を考える

わたしたちの暮らしを支えてくれる水。この貴重な水を与えてくれるのは、霞ヶ浦です。しかし霞ヶ浦は今、大変汚れた状態にさらされています。その汚濁の原因の大半は、わたしたちの家庭から排出される生活排水です。もう一度ふだんの水の使い方について振り返ってみましょう。

くらしの会は七月七日中央公民館において、千葉県柏市で廃食油のリサイクル粉石けん工場を市民の手でつくりあげ、手賀沼の汚濁に取り組んでいる中岡丈恵さん（ともえ）を講師にお招きし、清らかな水のためにわたしたちが家庭でできることを、実験をまじえて分かりやすくお話ししていただきました。



ミミズの実験
学習会では、化学物質をふくむ洗剤などが体におよぼす影響をミミズで実験しました（上段の写真）

少量の化学物質をふくむ洗剤やハンドソープ、歯みがき粉、そして廃食油でつくった石けんを器にのせ、水ですすめて、そこにミミズを入れてみました。すると、廃食油からつくった石けんの器のミミズには、変化が見られない一方で、洗剤やハンドソープ、歯みがき粉の器のミミズは体をよじらせ苦しみ、しだいに力を落としていきました。この水が多くの家庭から排出し、霞ヶ浦に流れ込むことになるのです。ふだんわたしたちが使っている製品の安全性についても考えていかなければなりません。

わたしたちができること
捨てた水は再び巡り巡って、わたしたちの飲料水となります。捨てる水は大切な資源なのです。台所では、なべやお皿の汚れをぶき落としてから洗い、てんぷら油は使いきるか固めて捨て、洗濯も適量の洗剤を使ったりする努力をしてみてください。まずはわたしたちの家庭からです。

花と緑の楽園



バラの秋剪定について



バラの大半は、四季咲き性が強く、梅雨明けのころになると、一番花、三番花と枝をにぎわしますが、夏は木を休ませてあげるために蕾を摘み、花を制限してあげると真夏の弱りがちな生育が助かります。次に、秋バラを立派に咲かせるための秋の剪定は次のとおりです。

一、時期

八月下旬（二十五日頃）から九月上旬（十日頃）が適期です。あまり遅いと開花時期が遅れて、寒さにあい、花がきれいに咲かないことがあります。

二、切り方

冬期の剪定と違い、あまり深く切りすぎないことが大切です。基本的には、樹高の三分の一くらいを目安に切りつめ、細い枝を間引いたりして風通しをよくすることが大切です。しかし、弱っている木や病虫害により落葉のはげしい木は、少し浅めに切って葉を残し、樹勢を弱めないようにします。この時期は生育中なので、剪定により葉を多く切り捨ててしまつては、秋バラはもちろん、来年に大きく影響しますので注意してください。 園芸課 佐藤誠

八郷高校のタギョウシヨウ

玄関前の目立つ所にありながら

巨樹調査がかなり進んだ段階でも、タギョウシヨウ(多行松)の存在には気づかなかつたが、八郷高校の澤島忠之校長先生の『是非見てもらいたい樹がある』との一言がこの樹との出会いをつくってくれた。

直径八mのロータリーの台座いっぱいには枝を伸ばす、幹周り一・七m、樹高六・九m、枝張り東西七・一m、南北八・九mのタギョウシヨウは、この樹種最大級の大きさで、赤みの樹肌をくねら

せ、優美な姿が一際目を引く。

タギョウシヨウはアカマツの園芸品種で、根もと近くから株立ち状に多数の幹に分かれ、傘を広げたような樹形になる。まさに八郷高校のシンボルと言ってよいだろう。八郷高校の歴史は昭和三十年、山根一町七か村が合併した八郷町誕生に始まる。合併を契機に

『八郷の地に高校を』の機運が高まり、その頃土浦二高が筑波分校を、水戸一高が大宮分校を、そして水戸農が石塚分校をというように県下は分校設立が続ぎ、本校は石岡一高の八郷分校として昭和三十一年二月十五日に開校し、

六年後に定員百五十名の全日制普通科高校として独立した。自衛隊の手により、南斜面の

松山を切り拓き造成された赤土と粘土層の校

地は、冬場に

なると筑波おろしが容赦なく吹きまくり、一帯にはもうもうと砂塵が巻き上がったといっ

たといっ



所在地 八郷高校
樹高 1.7m
胸高幹張り 1.5m
樹枝張り 9m

『大きい樹はほとんどが駄木ですよ』開校の頃、本校に勤められた西宮一男さんは回顧する。殺風景な新設校の環境を緑化しようと保護者や有志の方々に樹木の寄贈を募ったそうである。

この樹もその中の一本として、もとは月岡に在った旧小枝村役場の樹で、昭和三十七年八月頃といっ。『生徒と職員で掘り、チェインブロックで吊り、役場のトラックで運んだんです』と職員だった寺澤重男さんは当時を懐かしむ。十数名の生徒がトラックの前を歩き、道路の障害物を除きながら講堂前に運び移植したが、その後新校舎建築のために現在地に移された。何事によらず、創生期の仕事は苦労は付きものだが、職員が安行に行き買収求めた玉ヒバが、一夜にして持ち去られることもあったようだ。開校以来、卒業生は八〇一名に及び、今や本校出身の有為な人材は各界各層で活躍しておられるが、母校の思い出にタギョウシヨウを加えてもらえたらありがたい。

『赴任早々、校内を一巡りして最初に目に留まったのが校訓碑とタギョウシヨウでした』と澤島校長は振り返る。今日もまた、一本の樹に注がれた優しい目で生徒達を見つめておられるに違いない。

八郷町社会教育指導員 小林文男

●最近気になる病気

ダイエットと拒食症

豊後荘病院

精神科 袖山紀子医師



テレビや雑誌で「激やせ」と

い言葉を見聞きします。主にダイエットによる急激な体重減少を指すようですが、どんなイメージをお持ちでしょうか。

全てのダイエットがいけないわけではありません。肥満は成人病の原因となりますから、適度な体重を維持することは健康を保つために必要なことです。

しかし、ほとんど食事をとらなかつたり、極端に体重を減らすことはどうでしょう。人間は一日中じつと横になっているだけでも、約二〇〇キロカロリーのエネルギーを消費するといわれていますから、最低でも通常の半分の程度の食事は必要なのです。身長によっても違いますが、おおむね四〇キログラム以下の体重では電解質異常やホルモンのバランスの異常などが出現し、肌のつやがなくなったり、全身倦怠感、胃部不快感、便秘などが出現します。この状態が続けば、全身の臓器不全を起して死亡することもあります。

また、極端なダイエットをきっかけに「拒食症」となってしまう人もいます。拒食症の人は体重が増えることをとても怖がり、また、十分にやせているにもかかわらず、やせていると思わず、前出のようなやせることの危険性について説明を受けても、なかなか聞き入れることができません。多くの人が生理も不順になります。病気の初期にはむしろ活気があり、本人は病気であることを気付いていないことが多いので、時には周囲から強くすすめて医療機関を受診させることも必要です。生命に危険がおよぶような緊急時は点滴などの内科的な治療が必要となります。拒食症をきちんと治療するためには、精神科などで根気よく心のケアをしていく必要があります。治療は決して食べることを強要し肥満させることではありません。体重のコントロールの正しい方法を学び、日常生活に支障をきたさない体力を得ることが目標となります。

料理の手しわた

トマトマヨネーズ



食生活改善推進員 加藤 すみ江 (下林)
(ヘルスメイト)

オープンを使って簡単においしく食べる

[材料] (4人分)

トマト 4ヶ いんげん 4本
玉ねぎ(大) 1ヶ ベーコン 50g
マヨネーズ 大さじ4 こしょう 少々 [作り方]

- 1 トマトのへたを取り、中味をくり抜く。
- 2 ベーコンと玉ねぎをみじん切りにしてフライパンで軽く炒める。
- 3 いんげんをゆでて5mmくらいに切る。
- 4 2と3をマヨネーズであえる。
- 5 1のトマトに4を混ぜ、220 のオーブンで10分ぐらい焼く。
- 6 をお皿に盛りつけ、西洋パセリをわきに添えてできあがり。

わが家のアイドル



吉生

土佐 鞠華ちゃん

平成9年7月25日生まれ

父 秀美さん 母 久江さん

♥家族からの一言

明るくて元気な女の子です。保育所で習ったことなどを披露し、家族のみんなを楽しませます。お姉ちゃんが大好きで、いつも一緒に遊んでもらっています。大きくなっても思いやりのある子でいてください。

八郷の地名 ④



土地改良事業で消えた霞際の現在の眺望

消え行く「名処地名」②

*現代版名処地名

六月号で宇治会の名処地名を挙げたが、瓦谷・東成井などにも消滅した名処地名が見られる。この他にもあるかもしれないが、今月は土地改良事業による消滅地名を考えてみたい。消滅した地名でも、他の地域と共通するものは除いて拾ってみることにした。

*小桜川辻・月岡前流域

辻・月岡前の小桜川流域の地名で、他の地域と共通する地名を除いて拾ってみると面白い地名がある。

下溜・猿田・折戸・一ツ橋・三斗内・霞際祢可ら・夜引田・籠草・五郎志・蛭田・勘定・桜田・ヒデタ・スコウテ

ン・カワラケ・石橋・サイカ手田・ろん上・イボタマチ・ハツ喫・ワダケ

*小倉川吉生・小倉集落裏流域

行政地名の上根から柿岡境までの流域には、一、二筆の小面積の小字名が多く見られる。

大宮・川中郷・長谷川・鮎原・本戸前

明田・内膳田・大堤・押崎・カブレ田

神田・佐鎌・惣ヶ町・流田・彦次郎・マ

ンシユウ田・楽間・夜眼・ヌカリ

*有明川太田・小見・中戸流域

太田から小見集落裏側までは、急斜面を流れる有明川の流域に様々な地名が見られる。他の地域程の数ではない。

栗坪・水門・雀田・八丁時・御手洗

神地・備田・浜江場・松堰

この他にも、土地改良事業が行われた処では、数は少ないにしても消滅地名が

必ずある。

土地改良事業によって消滅地名となった地名は、明治初期の「切絵図」作製の際に消滅した「名処地名」と異なり、時がたつとまったく語り継がれなくなってしまう。しかも、消滅した地名は、小桜川・小倉川・有明川の例で示したように特別な意味をもつ地名である。

例えば、小桜川の蛭田の「ヒル」は方言で「ヒルメ」と呼んでいる湿地や池・沼などに生息する環形動物の蛭の生息するよつな、いつも水の切れることのない湿地水田の意味という。

この地名が消滅することによって蛭も忘れられてしまうことになる。せめて字切図や地名は記録して保存したいものである。

元茨城県立歴史館学芸部長 関肇



P.N 垂 鈴 く う



P.N 地球防衛団
団長代理



P.N 一本義迅雷



下林氏家 覓



P.N 奈月佐久羅

暮らしの ワンポイント ひろ場

暮らしの

ワンポイント

なべの手入れ

材質に応じた
洗い方で

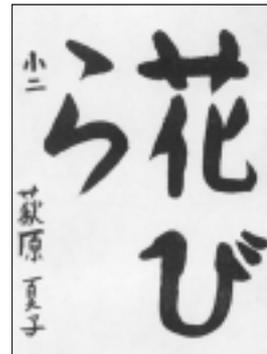
なべにこびりついた汚れは、時間がたつほど落ちにくくなります。使ったなべはすぐに洗うことが大切。また、材質に応じた洗い方をすることも必要です。それぞれのなべの材質や特徴を知った上で扱うようにしましょう。

アルミなべは、スチールウールなどで洗えます。ただしアルミの表面を処理したアルマイトの場合は、皮膜が傷

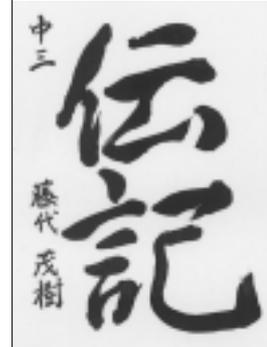
習字コーナー

評 書道研究 翠岳書院 関 翠 邱

林小二年 萩原夏子 柿岡中三年 藤代茂樹



習いはじめて間がないのに、線にふくらみも出て上手になりました。



骨と肉と皮がある書線が運筆を力強くしました。永い間の頑張り、で書の本質が見えてきたようです。

つかないようにスポンジで、ほつろろなべも、コーティングを傷つけないようにスポンジで洗います。

ステンレスなべは丈夫ですが傷が目立ちやすいので普段はスポンジで洗い、がんこな汚れはスチールウールで円を描くように優しく洗います。

鉄なべもスチールウールで洗えますが、こげついたときには水を入れて沸騰させ、こげた部分をやわらかくして、スポンジでこすりましょう。

いずれのなべも、こげついてしまったときに、いきなり水をかけたり無理にこげをはがそうとしたりすると、なべが傷む原因になるので注意が必要です。アルミやステンレス、ほつろろ

なべの場合、水を張っておくと小一時間こげが浮いてきます。それでも取れないときは、酢を混ぜた水をなべに入れて沸騰させ、こげついた部分がやわらかくなるまで煮立たせ、冷めたら湯を捨て、こげをすって落とします。

なべは水分を残さずに収納することも大切です。水気が残っていると、たとえステンレスでも重ねて収納したなべの接触部分にさびが浮くことがあります。さびを防ぐには、よく乾燥させてから伏せた状態でしまっか、フックなどにつり下げるといいでしょう。

鉄なべは火にかけて乾かし、薄く油を塗ってから収納するとさび止めに効果的です。

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 148

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①7月20日オープンの温泉施設の
愛称はやさと温泉何の郷？

- (A) まほろばの郷
- (B) やすらぎの郷
- (C) ゆりの郷

②衆議院議員総選挙小選挙区選挙
の町の投票率は？

- (A) 60.50 (B) 60.60 (C) 60.70

③7月5日に行われた社会を明る
くする運動八郷地区大会はことし
で何回目？

- (A) 40回目 (B) 45回目 (C) 50回目

[応募の方法]

☆ハガキに広報クイズ148と書き、
答えの記号(例 1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図
書券をプレゼントします。

☆締切日 平成12年8月21日
(当日消印有効)

☆応募先 〒315-0195 八郷町
柿岡5680-1 八郷町役場秘書広
聴課

☆当選者の発表 本紙 9月号

[広報クイズ146の当選者の発表]

正解は1-C、2-A、3-Aでした。
応募総数43通、正解43通の中か
ら次の10人が当選しました。
奥村博美(東成井) 鬼沢千栄子(小
幡) 菊地由香理(柿岡) 塩谷節子
(須釜) 染谷和夫(部原) 杉山茂
之祐(柴間) 関きみ子(柿岡) 田
口ふみ(片野) 竹越萌野(中戸)
土佐八千代(吉生) [敬称略]



P.N 口キ



須釜 塩谷 節子



P.N 小橋 照猫

● やさと文芸

孫の笑顔に財布の紐もゆるむ長閑な隠居部屋
乙女心の嬉しい胸を隠し切れない片笑窪
河岸の真菰の茂みの中に優しアヤメの隠れ咲き

下林 額賀力江
下林 小野瀬 午風
下林 大山 恒泉

縁白き大きな眼鏡日焼けの嬢
また色の変わり紫陽花今日は雨
ひとり言この頃多し椎の花

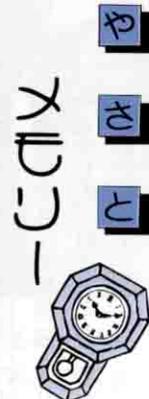
俵 句
綿引 鼓峰 選
川 又 川 又 溪 二
月 岡 萩 原 志 づ
真 家 長 谷 川 雅 吾
俵 語
鈴木 弦月 選

庭隅に植えしいちこの実も赤く熟れて食事の卓を賑わす
丹精を込めて咲かせし草花を褒めゆく人のありて嬉しき
大小の蝶の舞い寄る袖子の花初夏の日差しに輝ききみゆ
弓弦 雨貝 和 江
山崎 荒井 幸 子
月岡 萩原 照 子

短 歌
吉田 次郎 選



昭和四十七年の子ども会幹部講
習会の様子。集団生活をしながら
リーダーとしての心構えを学びま
した。



まちの話題で「き」ごと

身近な出来事や地元の話をおよそくください
 (連絡先・秘書広聴課 内線一三四三)

こじちよい音色に楽しいひととき

七月二日に、ジョイント・コンサート in やさこが中央公民館大講堂において行われました。

ことしで第五回目を迎えた同コンサートは、町内の有志の皆さんが結成した「音楽を楽しむ会(改称)」主催で行われたもので、会場は演奏を聴くこと集まった聴衆で埋めつくされました。

はじめに、リポア(李波)氏によるモンゴルの民族楽器 馬頭琴の演奏、白杵美智代氏のマリンバ、河野康弘氏のピアノと、国際的に活躍をされている演奏家の皆さんが次つぎに登場し、それぞれの

洗練された音色に聴衆の皆さんはうつりとしながら、耳を傾けていました。最後の河野氏のピアノが終わると、会場からはアンコールのかけ声があがり、河野氏とリポア氏のピアノと馬頭琴のといった大変めずらしい演奏を聴くことができた。会場からは大きな拍手が沸きあがりました。

同コンサートには、百人の老人会の皆さんが招待されました。また、チャリティ協力券の収益金は町へ寄付されることになっています。



賑やかにソフトバレー

六月二十五日に第一回ソフトバレーボール大会が総合運動公園体育館を会場に行われました。

同大会には子どもから大人まで十六チームが参加し、体育館はあちらこちらから歓声が響きわたり、賑わいを見せていました。

ソフトバレーボールは二チーム四人で、だれもが気軽に楽しむことができるスポーツです。

大会の結果は次のとおりです。

- 〔二位グループ〕 優勝 八郷クラブA 準優勝 園成 三位 ウイング21A
- 〔二位グループ〕 優勝 八郷クラブC 準優勝 金指境 三位 柿岡B
- 〔三位グループ〕 優勝 八郷クラブB 準優勝 林ソフトバレーB 三位 東成井A(四位以下グループ) 優勝 林ソフトバレーA 準優勝 金指和田 三位 園部中



募集 しています

広報やさこでは、「わが家のアイドル」ときめきタイムに出てくださいる方を募集しています。推薦も大歓迎です。ご希望される方は役場秘書広聴課広報係(一四三三)まで内線一三四三)までご連絡ください。

なお、広報に載った写真はさしあげます。

ありがとう ございます

南中学校にランドピアノ 一台 半田 桜井忠隆
 南中学校にテント 一張 平成十一年度卒業生保護者一同
 朝日小学校にアップライト 一台 月岡 斉藤純子

訂正文

訂正 広報六月号の二ページから五ページ下段の「区長さん紹介」のコーナーで恋瀬地区仲内の区長の友部静男さんが掲載しておりませんでした。訂正とともに深くお詫びいたします。

25人のモニター決まる

六月二十二日に町政モニター会議が行われました。同会議は、ことしで十三期を迎え、委嘱された町内二十五人のモニターの皆さんには、町長から委嘱状が手渡されました。

町政モニター制度とは、豊かで希望のもてる町づくりを進めるために、町民の皆さんのそれぞれの生活の中で感じた町に対する意見や要望、提案などをいただき、それらを町政に反映していくこととするものです。

モニターの任期は、委嘱された日から平成十三年三月三十一日までの期間で、会議は年四回を計画しています。モニターの皆さんにはモニター通信をはじめ、

モニター会議、町および関連の施設見学を行うってもらいます。

皆さんから寄せられた意見や提案、アンケート調査結果は次のように処理し、町政に生かしていきます。

一、意見などについては、町づくりにおける企画や町政を執行するための資料にするほかに、関係課館局所に送付し、必要とされるものについては回答します。二、アンケートの調査結果は、町づくりの企画や町政執行の資料とします。

町ではこのように、モニターの皆さんにご協力をいただきながら、対話のある開かれた町政をめざしています。



八郷のお米がさらにおいしく

米はわたしたちの食生活に欠かせないものとなっています。

町では、JAやさと、土浦地区農業改良普及センターと協力し、米の品質の向上と食味の向上をめざした、ふつくらやさと米推進事業を平成十二年度から開始しました。

内容は、ことし協力をいただいた小幡地区(香取)、恋瀬地区(半久)、瓦会地区(下宿)、小桜地区(真浦沢)の四地区の土地の地権者の皆さんが、普及セ

ンター職員の指導を受けながら、決められた基準で米を栽培します。そして、収穫・乾燥・調整した米を出荷し、JAやさととの直売所などを利用して消費者の皆さんに「八郷のふつくらコシヒカリ」登録名を広めていくこととするものです。

現在、「やさとふつくらコシヒカリの里」をキャッチフレーズに、黄色の旗を町内四か所に立て、「八郷のふつくらコシヒカリ」のPRを図っているところで、ことしの収穫に期待がかかります。



気がつくとも一年の半分以上が過ぎていました。勉強や仕事などをしてしていると、「何日に試験だから勉強しなくちゃいけない」とか、「何日まで仕事を終わらせないといけない」などと自分を追いこんでくせくしている人も多いことでしょう。そんなとき、冒頭のようなことをふと思いつけます。

ガールズワールドの言葉に「一日一分主義」という言葉があります。これは一日四時間を、二、二にふたつに分けて生活時間を設定する方法です。ひとつを基礎時間に、もうひとつを個人的時間というふうに。基礎時間の配分は、睡眠時間が八時間、食事が一時間、入浴や洗面、トイレなどに一時間、趣味や教養、娯楽に一時間、あわせて十二時間とします。個人的時間は、たずさわるそれぞれの職業などによってちがう生活時間を意味し、通勤時間や労働時間、社会人としての社交の時間などあわせて十二時間とします。

興味のある方は一度試してみましょ。意外なむだがでてくるかもしれませんよ。さっそくわたしも。(且)



社会を明るくする運動

『社会を明るくする運動』とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。毎年七月を強調月間として、全国各地で社会を明るくする運動の諸行事が実施されています。八郷町では七月五日、中央公民館を会場に第五十回社会を明るくする運動八郷町地区大会が開催されました。

大会の第一部は記念講演として、大関武双山の父、尾曾正人氏をお招きし、「大関武双山の生い立ちの記」と題する講演、第二部は広報映画「その先の光へ」が上映されました。ここでは、社会を明るくする運動のあらましについて触れてみたいと思います。



武双山の父、尾曾正人氏の講演会の様子。
幼少時代から大関昇進までの武双山の生い立ち
について熱く語ってくれた。

始まりは銀座から

日本がまだ戦後の荒廃の中にあつた昭和二十四年七月一日に非行少年や犯罪者の立ち直りの支援と犯罪の予防を目的とした犯罪者予防更生法が施行され、更生保護制度はスタートしました。このような荒廃の中で、住む場所もままならない子どもたちを地域の人たちの手で助けていくこと、銀座の商店街の人たちが手を取り合い、「銀座フェア」と名づけた催しものを行いました。続いて翌昭和二十五年には、「矯正保護キャンペーン」が全国的に実施されるようになり、昭和二十六年七月に法務省は、犯罪の防止と犯罪を犯した人たちの立ち直りには地域住民の理解と協力が必要であると考え、この活動を「社会を明るくする運動」と名付けて、広く社会に広めることにしました。

すすむ人間関係の希薄化

昭和二十四年の銀座フェアをきっかけに始まった社会を明るくする運動はことしで五十回を迎えました。現在、経済的に豊かになっている一方で、少年犯罪の凶悪化が増加の一途をたどっています。これは地域社会における連帯感の欠如、人間関係の希薄化などから、子どもたちが地域社会の中で人づき合いや、集団での体験が不足していることが背景にあるようです。

子どもの世界を広げよう

現在、各学校の授業のうちに「総合的な学習の時間」が取り入れられています。総合的な学習とは、児童・生徒が自ら問題意識を持ち、そのことを自ら



平成11年11月10日に行われた朝日小学校の総合的学習の発表会。現在、各学校で実体験を通して学ぶ総合的学習の時間が取り入れられている。

学び自ら考え、実体験を通して問題を解決していく学習をいいます。たとえば、勤労体験、ボランティアなどの教科を超えた体験学習です。これには地域住民の協力も必要です。子どもたちが地域社会の中で大人とともに、ボランティア活動や、まちづくり、地域の行事等に参画していけるような子どもの居場所をわたしたち大人は提供していかなければなりません。そうすることが子どもたちの世界を広め、自分たちの住む地域の問題を自分のこととして捉えることのできる豊かな人間性と、主体的な姿勢を持つ子どもの育成につながるのです。

明るい社会をめざして

ことしの社会を明るくする運動の重点目標は「犯罪や非行を防止するとともに、罪を犯した人や非行に陥った少年の更生を支え、ふれあいのある明るい地域づくりに参画する」で、統一標語を「ふれあいと対話が築く 明るい社会」とし、これらを運動展開の指針としています。そして子どもと大人がお互いに連携しながら、地域社会の輪が広がっていくような地域社会づくりに取り組んでいます。